

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	医療安全管理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 702教室
担当教員	吉田昌裕、小松裕司	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>診療放射線技師教育における医療安全管理学は、国家試験科目の一つとして、医療事故の構造や発生要因を理解し、法令遵守とリスクマネジメントの視点から安全な放射線診療を実践する能力を養う科目である。ヒヤリ・ハット事例の分析やチーム医療におけるコミュニケーションの重要性を学ぶとともに、2021年施行の診療放射線技師法改正による業務拡大についても理解し、拡大業務を安全かつ適切に遂行するための知識と判断力を身につける。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>受講態度、課題レポートを総合的に評価する。評価の基準は、この授業で達成すべき目標をどの程度理解したかによる。</p> <p>①筆記試験 + レポート 70%</p> <p>②出席評価点 20%</p> <p>③平常点(授業へ取組む姿勢) 10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>診療放射線技師スリムベーシック医療安全管理学</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>ヒューマンエラーは生活する中でも数多く存在します。日ごろから自身の行動を見つめなおすことで、なぜエラーが発生するのかを考えてみてください。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>医療人になるために、医療現場ではどのような事故が発生しているのかを知る必要があります。自身でもできるだけ興味をもって調べてください。グループで実習を行うが、誰かに任せず全員が主体的に取り組むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療安全の基本理念を理解し、安全な医療提供の目的、医療従事者の倫理観、個人情報保護の重要性について学ぶ。	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する	
		各コマにおける授業予定	医療安全の目的と倫理			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヒューマンエラーの分類、発生要因、防止策を体系的に学び、事故を未然に防ぐための人的要因分析能力を養う。	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する	
		各コマにおける授業予定	ヒューマンエラーの理解			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療事故やインシデントの分類、発生要因、発生後の対応および再発防止策について理解する。	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する	
		各コマにおける授業予定	医療事故・インシデント対応			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	リスクマネジメントの概念を学び、事故情報の伝達・共有体制の構築と組織的安全文化の形成を理解する。	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する	
		各コマにおける授業予定	リスクマネジメントと情報共有			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線診療特有のリスクを理解し、被ばく管理や検査・治療時の安全対策について学ぶ。	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する	
		各コマにおける授業予定	放射線診療における安全管理			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症の原因、感染経路、標準予防策、針刺し事故対策など、医療機関内での感染防止策を理解する。	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	院内感染対策		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線装置、核医学機器、放射線治療装置などの安全な操作方法と点検管理について学ぶ。	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	医療機器の安全使用		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	造影剤や放射性医薬品の適応、禁忌、副作用、合併症への対応について理解する。	配布資料	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	医薬品・造影剤の安全管理		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	救急疾患の基礎知識と、一次・二次救命処置を含む緊急時対応能力を養う。	配布資料	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	救急医療と一次救命処置		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	静脈路確保や造影剤投与補助などの診療補助行為に伴うリスク、合併症予防、2021年の業務拡大後の安全運用について理解する。	配布資料	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	診療補助行為の安全管理		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでに起きた医療事故から安全に対する検討を行える	配布資料	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	事例検討		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでに起きた医療事故から安全に対する検討を行える	配布資料	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	事例検討		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	RCA分析法を理解し、医療事故の根本原因を見つけ出し対策を立案する	配布資料	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	RCA分析法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	RCA分析法を理解し、医療事故の根本原因を見つけ出し対策を立案する	配布資料	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	RCA分析法		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	RCA分析法を理解し、医療事故の根本原因を見つけ出し対策を立案する	配布資料	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	RCA分析法		